

第73回国民体育大会選手選考基準

Ver.20171125

(一財)栃木陸上競技協会 強化部

1. 国体予選競技会

- 栃木県陸上競技春季大会
- 栃木県高等学校総合体育大会陸上競技大会
- 栃木県陸上競技選手権大会
- 全日本中学校通信陸上競技大会栃木県大会
- 栃木県高等学校陸上競技学年別大会
- 国民体育大会陸上競技栃木県予選会

※少年男子 B3000m に出場の意志がある選手は、国民体育大会陸上競技栃木県予選会に必ず出場すること。

2. 選考対象競技会(国体予選会を含む参考競技会)

- 1) 成年
日本選手権・各地区インカレ・各地区実業団・日本グランプリシリーズ・日本学生個人選手権
- 2) 少年 A・B・共通(高校生)
全国高等学校総合体育大会陸上競技大会・関東高等学校陸上競技大会
- 3) 少年 B・共通
栃木県中学校春季体育大会陸上競技大会
栃木県中学校総合体育大会陸上競技選手権大会
関東中学校陸上競技大会

(国体参加資格等)

- * 選手団編成監督(2名)・選手 29名(男子選手 19名以内、女子選手 19名以内) 計 31名とする(監督兼選手(1名)の場合は、参加選手 30名を選考することができる)。
- * 1種目1名、同一人の出場は2種目までとする。ただし、リレーは除く。
- * (一財)栃木陸上競技協会が定める上記1. の県国体予選会に出場しなかった選手、または出場しなかった種目については選考対象外となる(上記2. の選考対象競技会のみ出場では選考対象外となる)。ただし、1種目の予選のみに出場し、その種目の代表選手となった者は、予選に出場しなかった他の1種目にも出場できる。
- * 第73回国民体育大会におけるトップアスリート参加資格特例措置対象者(該当種目に限る)については、(公財)日本体育協会が定める特例の内容に準じて選考の対象となる。
- * 監督は、日体協公認スポーツ指導者制度に基づく公認陸上競技コーチ、公認陸上競技上級コーチ、または公認陸上競技指導員、公認陸上競技上級指導員の資格を有する者とする。
- * ふるさと選手制度については、第73回国民体育大会実施要項総則5(別記1を含む。)の規程による。

3. 選考基準

- 1) 国体選考基準記録の有効期限は、平成30年4月1日～平成30年8月9日とする。
(長距離種目においては、平成29年10月11日～平成30年3月31日までの記録も参考記録とする)
- 2) 期限内に栃木陸協強化部が設定する国体選考基準記録(A・B)を突破している種目、または平成30年8月9日時点での全国ランキングを参考に国体において入賞する可能性が高いと判断した選手がいる種目から選考する。なお、該当者が複数いる場合や、基準記録に近い記録を出している選手がいる場合は、各種大会の成績を考慮して選考する。ただし、選考の優先順位は以下の通りとする。
①A基準突破者 ②全国ランキング上位者(入賞可能な者) ③B基準突破者 ④全国ランキングを参考
- 3) 少年種別については、全国高校総体・関東高校で特筆する結果がない場合、または今季ベスト記録に差がない場合、国民体育大会陸上競技栃木県予選会の結果を重視して選考する。
- 4) 少年男子 B3000m の選考については、国民体育大会陸上競技栃木県予選会の結果を重視する。ただし、高校生

で、全国高校総体での入賞者が複数いる場合は、全国高校総体および国民体育大会陸上競技栃木県予選会の結果により選考する。また、中学生がいる場合は、直近の国体過去3大会分の第8位記録の平均タイムを突破している者で、関東中学陸上において優勝した者を選考対象とする。

【参考】

過去3大会(愛媛, 岩手, 和歌山)国体少年男子 B3000m 決勝の8位平均タイム 8'32"19

- 5) リレー種目に関してチーム編成する場合は、国体予選会及び選考対象競技会の結果を参考に特性を配慮して選考する。
- 6) 栃木陸協強化部が設定する国体選考基準記録(A・B)の突破は、国体候補選手の内定とは限らない。

4. 備考

- 1) 選考対象選手であっても、選手選考時点で怪我や病気等の問題が生じている選手については選考しない場合がある。
- 2) 選手決定後、怪我や病気等の問題が生じた選手については選手変更もあり得る。
- 3) 国体候補選手の内定については、(一財)栃木陸上競技協会 評議員会の承認を経た後、各所属長または本人宛に郵送をもって通知する。(内定者のみ通知する)
- 4) 選考された選手は、原則として国体強化練習会・合宿に参加すること。
- 5) 国体に参加の意思のある競技者は、別紙の「国民体育大会参加資格について(選手用)」を必ず一読すること。

※赤字は昨年度からの変更点